

- 復興・再生と地方創生の取組を具体的に進める上では、社会情勢や社会環境が多様化・複雑化している現状を踏まえ、**全庁的に共通する重要課題の設定と共有**を図り、部局長から担当職員に至るまで「**経営的視点**」を持って**部局横断的に取組を進め成果を創出する**とともに、県民にも分かりやすく「**成果の見える化**」を図る必要がある。
- 全庁横断的な課題における成果創出を目指し、令和3年度は、「**健康長寿**」「**移住・定住**」「**人づくり(子育て・教育)**」「**地産地消**」「**デジタル化によるプロセスイノベーション**」の**5つのテーマ**を設定し、**各部局の重点事業**から、本来の事業目的の他に、**特にこれらの課題に貢献が期待できる“側面”を持つ1事業程度ずつ**選定し推進。
- 各地方振興局も5つのテーマに基づく「**重点施策推進加速化事業**」の取組を推進。
- 令和4年度も、代表的な事業選定・推進を図りながら、**他の事業や事務においても共通課題を意識した運営を推進して県政重要課題の解決へのチャレンジ**を進めながら、**職員の意識の变革や気づきを促す**。

**健康長寿**

- ・健康長寿ふくしま推進事業 (保健福祉部)
- ・Jヴィレッジ利活用促進事業 (企画調整部)
- ・チャレンジふくしま県民運動推進事業 (文化スポーツ局)
- ・ふくしまグリーン復興推進事業 (生活環境部)
- ・浜通り地域等医療・福祉機器導入モデル事業 (商工労働部)
- ・観光地域づくり総合推進事業 (観光交流局)
- ・菜食健美ふくしま！地域特産物活用事業 (農林水産部)
- ・自転車の活用による健康づくり推進事業 (土木部)
- ・ふくしまっ子健康マネジメントプラン (教育庁)
- ・企業等と連携した子供高齢者安全対策強化事業 (警察本部)
- ・ウィズ新型感染症に対応した交流人口拡大事業 (南会津)
- ・スポーツと復興拠点を結ぶそうそう健康づくり・交流人口拡大事業 (相双)
- ・アフターコロナを見据えた地域づくり推進事業 (いわき)

主な成果

- 県民の健康づくりを喚起…およそ3万1千人の県民の健康の取組に貢献
- 健康長寿に寄与する基盤づくり…健康づくりの注意喚起、健康基盤の確保、**身体の安全安心に関する関心創出や啓発を実施**

自転車を活用した健康づくり



※関連指標

・健康寿命	男性	72.28歳 (R1)	75.60歳 (R12)
	女性	75.37歳 (R1)	77.85歳 (R12)

**移住・定住**

- ・テレワークによる「ふくしまぐらし。」推進事業 (企画調整部)
- ・避難地域への移住促進事業 (避難地域復興局)
- ・「地方創生路線」只見線利活用プロジェクト (生活環境部)
- ・スタートアップふくしま創造事業 (商工労働部)
- ・ワーケーションを活用した観光支援事業 (観光交流局)
- ・ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業 (農林水産部)
- ・「住んでふくしま」空き家対策総合支援事業 (土木部)
- ・在留外国人のための交通安全・防犯対策向上事業 (警察本部)
- ・地域おこし協力隊定着促進ハンズオン事業 (県北)
- ・県北地域人材確保・働き方支援事業 (県北)
- ・ふくしまあこがれの連鎖・関係人口創出オンライン交流事業  
～おうちでふくしま移・食・住～ (県中)
- ・テレワークタウンしらかわ推進事業 (県南)
- ・しらかわスタイル移住推進市町村タイアップ事業 (県南)
- ・デジタル技術活用Aizu官民共創型課題解決事業 (会津)
- ・鳥獣対策から始める持続可能な小さな拠点づくり事業 (会津)
- ・ウィズ新型感染症に対応した交流人口拡大事業 (南会津)
- ・オンラインによる地域情報発信事業 (南会津)
- ・魅力体感！そうそう体験型観光振興事業 (相双)

主な成果

- 移住を直接推進…4つの事業(県支援制度の一部)が115件の移住を創出
- ふくしまとつながる機会を創出…テレワークや視察ツアー、オンラインイベントに約8千名参加、ネット配信を130万人が閲覧
- 移住や定住の阻害となる課題の解決…オンライン環境や安全・安心の確保等、移住・定住を推進する上で必要な基盤整備を推進

テレワークの促進



※関連指標

・移住世帯数	723世帯(R2)	1,450世帯(R12)
・移住を見据えた関係人口創出数	1,334人(R2)	6,884人(R12)



# 令和3年度 全庁的に共通する重要課題への部局横断的な取組の成果(総括表)

## 人づくり(子育て・教育)

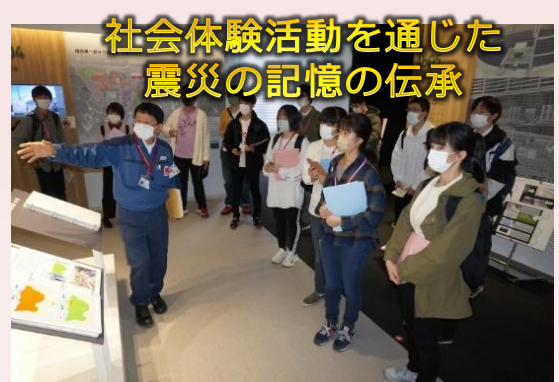
- ・低年齢児受入対策緊急支援事業 (こども未来局)
- ・チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業(教育庁)
- ・女性IT人材育成・就業応援事業 (総務部)
- ・そなえるふくしま防災事業 (危機管理部)
- ・地域密着型プロジェクトふくしまの元気応援事業(企画調整部)
- ・NPO強化による地域活性化事業 (文化スポーツ局)
- ・外国人住民生活支援事業 (生活環境部)
- ・テアガミにおけるイノベ人材等育成事業 (商工労働部)
- ・林業人材育成事業 (農林水産部)
- ・県北地域人材確保・働き方支援事業 (県北)
- ・「南会津で働く魅力を探る」地元定着向上事業 (南会津)
- ・アフターコロナを見据えた地域づくり推進事業 (いわき)

### 主な成果

- 子育て環境の整備…市町村の待機児童解消の取組を支援
- 子どもを対象とする人材育成…福島ならではの学びを全県的に展開
- 幅広い世代を対象とした人材育成…防災や魅力発信に係るものの他、外国人の言語育成等幅広く推進
- 産業人材育成…約5千人の県民に福島の産業人材としての活躍意識を啓発

### ※関連指標

・保育所入所希望者に対する待機児童数の割合	0.2% (R3.4)	0% (R12)
・震災学習の実施率	30.7% (R2)	100% (R12)



## 地産地消

- ・再生可能エネルギー地産地消支援事業 (企画調整部)
- ・水素エネルギー普及拡大事業 (企画調整部)
- ・オールふくしまEC0推進プロジェクト (生活環境部)
- ・ごみ減量推進プロジェクト (生活環境部)
- ・開発型・提案型企业転換総合支援事業 (商工労働部)
- ・ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業 (農林水産部)
- ・県産酒流通促進事業 (観光交流局)
- ・withコロナ時代の観光人材発掘・観光コンテンツ等造成支援事業 (会津)

### 主な成果

- 地産地消を直接推進…本県が生産する再エネや日本酒の県内での消費を促進
- 地産地消を間接推進…社会情勢やニーズに合わせた地産地消型の意識や取組への変革を推進

### ※関連指標

・再生可能エネルギー導入量	43.4%(R2)	70.0%(R12)
・地元産の食材を、積極的に使用していると回答した県民の割合	74.6% (R3.7)	90%以上(R12)

### 郡山水素ステーション (R4.2開所)



## デジタル化によるプロセスイノベーション

- ・ふくしまSociety5.0推進事業 (企画調整部)
- ・デジタル技術活用型地域おこし協力隊事業 (企画調整部)
- ・ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業(保健福祉)
- ・産業活性化プログラム (商工労働部)
- ・「福島牛」AI肥育確立事業 (農林水産部)
- ・建設DX推進事業 (土木部)
- ・新時代の学校におけるICT環境研究開発事業 (教育庁)
- ・ふくしまあこがれの連鎖・関係人口創出オンライン交流事業～おうちでふくしま移・食・住～ (県中)
- ・デジタル技術活用Aizu官民共創型課題解決事業 (会津)
- ・鳥獣対策から始める持続可能な小さな拠点づくり事業 (会津)
- ・ウィズ新型コロナウイルスに対応した交流人口拡大事業 (南会津)

### 主な成果

- 行政のDX…市町村のDXに向け18市町村にアドバイザー派遣の他、地域おこし協力隊制度を活用し支援
- 地域のDX…デジタル技術を活用し、企業、農業者等の経営の効率化、競争力の強化等新しい価値を創出

### ※関連指標

・地域のDXによる新しい価値の創出数	- (R2)	65件 (R12)
・今住んでいる地域が住みやすいと回答した県民の割合	70.4% (R3.7)	85%以上 (R12)

### ICTアドバイザーの市町村派遣





# 「健康長寿」の取組成果

## ①県民の健康づくりを喚起…およそ3万1千人の県民の健康増進の取組に貢献

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
健康長寿ふくしま推進事業(保福)	健民アプリによるチーム対抗バーチャルウォーキング大会などを実施し健康づくりの実践を促す	チーム対抗バーチャルウォーキング大会参加 253チーム913名 ※一般325名、企業588名
Jヴィレッジ利活用促進事業(企画)	ピッチの開放や地域住民向けスポーツ体験講座実施等により県民の健康を増進	ピッチの無料開放56日…4,064人 当該講座24回開催…106人
ふくしまグリーン復興推進事業(生環)	自然公園を歩いて楽しむトレイルルートの設定及びサイクリングスタンプラリーの開催による健康づくり	トレイルルートの設定数9ルート スタンプラリーの参加人数114人
観光地域づくり総合推進事業(観光)	自然体験、アクティビティ、発酵文化等ツーリズムによる健康づくりにつなげる	発酵ツーリズム造成に関わった高校生の人数 +モニターツアー参加人数…83人
菜食健美ふくしま！地域特産物活用事業(農林)	保健機能を有する特産物(おたねにんじん、エゴマ)の生産促進と、学校給食活用など県民がふれる機会の推進	学校給食35校の児童・生徒等約10,900人 (延べ)
ふくしまっ子マネジメントプラン(教育)	小学4年生以上に配布する「自分手帳」を活用するなどし、児童生徒の自己マネジメント能力の育成を推進	自分手帳を新たに配布した児童生徒数 …14,331人(令和3年度の小学4年生)
ウィズ新型コロナウイルスに対応した交流人口拡大事業(南会津)	自転車を活用した周遊イベントを実施し健康づくり意識につなげる	自転車でぐるっと南会津2021及びサイクル ロゲイニングin南会津2021参加者154名
スポーツと復興拠点を結ぶそうそう健康づくり・交流人口拡大事業(相双)	U-15、U-12女子サッカーフェスティバルの開催を通じ健康づくり意欲を喚起	U-15、U-12女子サッカーフェスティバル 参加者265名
アフターコロナを見据えた地域づくり推進事業(いわき)	サイクルフォトコンテストやSNS「いわき自転車部」による情報発信により、自転車を活用した健康づくりを促進	サイクルフォトコンテスト応募者402人

## 健民アプリ・バーチャルウォーキング大会



## 自転車を活用した健康づくり



## Jヴィレッジを活用した健康機会の創出



## ②健康長寿に寄与する基盤づくり…健康づくりの注意喚起、健康基盤の確保、身体的安全安心に関する関心創出や啓発を実施

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
チャレンジふくしま県民運動推進事業(文スポ)	TVCMやインターネット等で県民に健康づくり情報を発信	県民の健康づくりに向けたきめ細やかな情報の発信・伝達による日常からの意欲喚起
浜通り地域等医療・福祉機器導入モデル事業(商労)	介護支援AIコミュニケーションロボットの導入等	介護現場の人手不足への支援を通じた利用者の満足度を下支え
自転車の活用による健康づくり推進事業(土木)	サイクリングルート設定やマップの作成などにより、自転車による県民の健康づくりを喚起	自転車初心者を始め誰にでも楽しんでもらえるルートを設定するために検討会を開催
企業等と連携した子供高齢者安全対策強化事業(県警)	子どもや高齢者を各種犯罪から守り身体的安全安心を確保するため、企業と連携した啓発・広報の実施	各保険会社等と連携した防犯チラシ配布等による、より広範な日常からの防犯意識の啓発



# 「移住・定住」の取組成果

## ①移住を直接推進…4つの事業(県支援制度の一部)が115件の移住を創出

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
避難地域への移住促進事業(避難)	ふくしま12市町村移住支援センターを開所し、移住・定住を促進	移住支援金採択件数…24件 (2/24時点) 起業支援金採択件数…5件 (同上)
スタートアップふくしま創造事業(商労)	Fターン事業などにより、起業による移住を促進	補助活用による起業による移住者…2件
ふくしま有機農業ひとづくり強化支援事業(農林)	有機農業に取り組もうとする就農希望者を支援	補助活用による移住就農者…5件
「住んでふくしま」空き家対策総合支援事業(土木)	移住者や二地域居住者向けの良質な住まい確保を支援	移住等に向けた空き家の改修等補助…79件



## ②ふくしまとつながる機会を創出…テレワークや視察ツアー、オンラインイベントに約8千名参加、ネット配信を130万人閲覧

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
テレワークによる「ふくしまぐらし。」推進事業(企画)	「テレワーク×ぐらし」体験支援補助金などを活用し、県内へのテレワークによる来訪を呼び込み	テレワーク体験支援補助金利用者…107名
「地方創生路線」只見線利活用プロジェクト(生環)	只見線を活用したツアー、イベント等を通じ、交流人口創出から移住にも貢献	ツアー・イベント参加者…7,410人
地域おこし協力隊定住促進ハンズオン事業(県北)	地域おこし協力隊の任期終了後の定住促進のために必要な地域資源(人・もの)のコーディネート	伴走支援を実施した隊員数…20名 R3年度任期終了隊員のうち管内に定住した者…5名
県北地域人材確保・働き方支援事業(県北)	地元企業で活躍する先輩たちを地元高校生等のロールモデルとして紹介し、しごとを通じた定住につなげる	ハンドブック配布の高校1年生…約3,500人
ふくしまあこがれの連鎖・関係人口創出オンライン交流事業(県中)	市町村や地域キーパーソンと連携し、地域の食をフックとしたオンライン交流会を開催して関係人口を創出	オンライン交流イベント参加者…240人
テレワークタウンしらかわ推進事業(県南)	専用サイトやゴルフ場との連携による発信などにより、首都圏のテレワーカー等を呼び込む	「テレワーク×ぐらし」体験支援補助金利用者…16名(2/17時点)
しらかわスタイル移住推進市町村タイアップ事業(県南)	新たな移住者層「転職なき移住」に向けた動画広告等	「安近しらかわ」動画視聴回数…約68万回
ウィズ新型コロナウイルスに対応した交流人口拡大事業(南会津)	自転車を活用したイベント及びオンライン観光の実施による関係人口の創出	オンラインツアー参加者…約60名 自転車イベント参加者…約150名
オンラインによる地域情報発信事業(南会津)	「おいでよ！南会津」サイトを設置し移住等情報発信	表示・視聴数…約64万ビュー
魅力体感！そうそう体験型観光振興事業(相双)	地域のコンテンツを活用した親子／女性モニターツアー	親子ツアー…35名、女性ツアー…20名



## ③移住や定住の阻害となる課題の解決…オンライン環境や安全・安心の確保等、移住・定住を推進する上で必要な基盤整備を推進

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
ワーケーションを活用した観光支援事業(観光)	Wi-Fiやワーキングスペースの整備等	補助活用…50件、モニターツアー…20人
在留外国人のための交通安全・防犯対策向上事業(県警)	VRを活用した在留外国人に対する交通安全・防犯講話の実施や多言語一時停止標識の設置	講話受講者数…90人 郡山駅周辺一時停止標識対応…65カ所
デジタル技術活用Aizu官民共創型課題解決事業(会津)	管内市町村連携による鳥獣対策を始めとしたデジタル技術を活用した地域課題の解決により、持続可能なまちづくりを推進	デジタル技術を活用した地域課題の解決により、移住・定住希望者に住みやすさをアピール
鳥獣対策から始める持続可能な小さな拠点づくり事業(会津)	地域課題に自ら取り組む小さな拠点を1か所選定し、鳥獣対策を始め地域の課題の解決に向けた取組を支援	地域課題解決への集落ぐるみの取組の機運醸成により、移住・定住を受け入れやすい地域となることに貢献





# 「人づくり（子育て・教育）」の取組成果

## ①子育て環境の整備…市町村の待機児童解消の取組を支援

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
低年齢児受入対策緊急支援事業(こども)	低年齢児(0~2歳)の受入体制の強化のため保育士加配を行う市町村を支援	市町村の待機児童解消の取組を支援

## ②子どもを対象とする人材育成…福島ならではの学びを全県的に展開

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業(教育)	ふくしまキッズパワーアップ事業や「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業により、主体的に復興に寄与する人材を育成	事業に参加した児童・生徒数…6,974人(2/18時点)
地域密着型プロスポーツふくしまの元気応援事業(企画)	プロスポーツチームが実施するスポーツを通じた子どもの夢の創出を支援	ふくしまの夢・元気チャレンジ事業によるスポーツ教室に参加した子ども…1,270人

## ③幅広い世代を対象とした人材育成…防災や魅力発信に係るものの他、地域人材としての外国人の言語育成等幅広く推進

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
そなえるふくしま防災事業(危機)	防災ガイドブック等を用いて広く県民の防災意識を啓発する他、危機管理センター見学や家族セミナー等を実施	危機管理センター見学、家族セミナー、防災出前講座に参加した県民…約4,000人
外国人住民生活支援事業(生環)	外国人住民と地域との交流促進に向けて「やさしい日本語」出前講座等を開催	「やさしい日本語」出前講座受講者数…174名(2/10時点)
アフターコロナを見据えた地域づくり推進事業(いわき)	SNS等を活用して自分の好きな地域を好意的・積極的に発信する「アンバサダー」を育成	アンバサダー育成数…5人

## ④産業人材育成…約4千4百人の県民に福島産業人材としての活躍意識を啓発

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
女性IT人材育成・就業応援事業(総務)	会津大学において、一旦職を離れた女性のICTに関するリカレント教育を推進	受講者数…92名(その後のマッチングによる就労者45名)
NPO強化による地域活性化事業(文スポ)	NPOにおける学生のインターンシップ活動を通し、本県を牽引する若い力の成長を促す	チャレンジインターンシップ事業への参加学生数…38名
テクノアカデミーにおけるイノベ人材等育成事業(商労)	各校においてロボットや再エネに関する授業を実施するなど、本県の今後の産業を担う人材を育成	学生向け授業時間数(3校合計)…1,286時間 テクノフェア参加者数…450名 (YouTube視聴者約1,000人)
林業人材育成事業(農林)	林業従事者の短期研修を実施し技術力や安全知識の向上に取り組む	短期研修の受講者…236名
県北地域人材確保・働き方支援事業(県北)	地元企業で活躍する先輩たちを地元高校生等のロールモデルとして紹介し、産業人材の確保・育成につなげる	ハンドブック配布の高校1年生…約3,500人
「南会津で働く魅力を探る」地元定着向上事業(南会津)	小・中学生を対象として南会津で働くことの魅力について楽しみながら学べる謎解きイベントを実施	「南会津のお仕事マニア王決定戦」参加者…81名





# 「地産地消」の取組成果

## ①地産地消を直接推進…本県で生産する再エネや日本酒の県内での消費を促進

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
再生可能エネルギー地産地消支援事業(企画)	住宅用太陽光発電設備の支援による県民自らのエネルギーの地産地消・自家消費を推進	住宅用太陽光発電設備補助交付決定数…2300件
水素エネルギー普及拡大事業(企画)	水素ステーションの整備による県産水素の地産地消を推進	水素ステーション補助交付決定数…3件
県産酒流通促進事業(観光)	コロナ禍を機にクーポンによる販売店での県産日本酒の販売促進により県産日本酒の地産地消を推進	県内吟醸酒税課税移出量が前年比101% (1~12月、販売終了事業者除く)

## ②地産地消を間接推進…社会情勢やニーズに合わせた地産地消型の意識や取組への変革を推進

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
オールふくしまECO推進プロジェクト(生環)	省エネやごみリサイクルの推進等を通じ環境意識を啓発し、県産のものを県内で消費する意識にもつなげていく	みんなでエコチャレンジ参加世帯…4,525世帯
ごみ減量推進プロジェクト(生環)	生ごみの堆肥化等を進め、県内でのごみの減量化・資源循環を推進	廃棄物削減モデル事業(福島市・猪苗代町、北塩原村)による処理量…約21t
開発型・提案型企业転換総合支援事業(商労)	下請け中心のものづくり企業から開発型・提案型企业へと転換を図り、地元消費に結びつける	本事業の支援で開発した新製品…6件
ふくしまの元気を創る地域産業6次化推進事業(農林)	地域の農林水産物に付加価値を付けて利活用する取組を推進することで農林水産部通の地産地消に貢献	地域産業6次化ステップアップ強化事業交付決定数…19件(ソフト)
withコロナ時代の観光人材発掘・観光コンテンツ等造成支援事業(会津)	マイクロツーリズムに資する人材を発掘し、積極的に活用を図る	人材発掘対象者数…約80名



自家消費型再生可能エネルギーの導入支援



県産日本酒の消費促進



生ごみの堆肥化等によるごみの減量化・資源循環の推進



地域産業6次化の推進(集落での赤かぶ漬)



# 「デジタル化によるプロセスイノベーション」の取組成果

## ①行政のデジタル変革(DX)…市町村のDXに向け18市町村にアドバイザー派遣の他、地域おこし協力隊制度を活用し支援

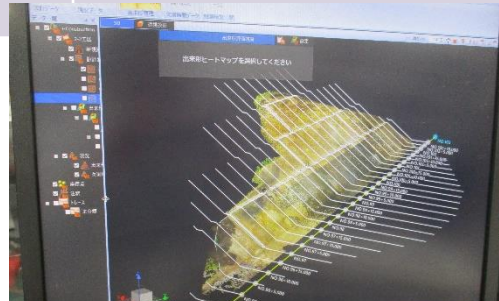
取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
ふくしまSociety5.0推進事業(企画)	ICTの推進等、市町村の行政課題の解決に向けたデジタル変革による公務能率の向上を促進	アドバイザーの派遣…18市町村 市町村ICT化補助金交付決定…10市町村(17事業)
デジタル技術活用型地域おこし協力隊事業(企画)	デジタル技術活用型地域おこし協力隊を設置し個別市町村の支援を実施	隊員1名の配置

## ②地域のデジタル変革(DX)…デジタル技術を活用し、企業、農業者等の経営の効率化、競争力の強化等新しい価値を創出

取組名	テーマに関する取組内容	テーマに関する成果
ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業(保福)	介護現場にICT技術を導入し生産性を向上させる	介護現場へのロボット・ICT導入支援…約200件
産業活性化プログラム(商労)	県内企業が次世代技術に対応するための基盤構築を支援する事業としてDX社会に対応できる企業を育成	次世代技術専門家派遣企業…4社
「福島牛」AI肥育確立事業(農水)	「福島牛」のブランド力強化に向けて、AIの先端技術を活用	超音波画像取得実施…82農場836頭
建設DX推進事業(土木)	建設工事の業務そのものにデジタル技術を活用し、生産性向上と建設工事関係者の働き方を改革	専門家によるICT活用工事の技術支援…11工事
新時代の学校におけるICT環境研究開発事業(教育)	県立学校に大型提示装置等ICT機器を整備し、きめ細かな指導の実現と教員負担の軽減を図る	大型提示装置等の整備…67校(R3年度計画完了)
ふくしまあこがれの連鎖・関係人口創出オンライン交流事業(県中)	コロナ禍においても、デジタル技術を活用して、首都圏等の移住関心層に福島の魅力を訴求	須賀川市、天栄村、郡山市、小野町、三春町、平田村との連携イベントを実施し240名参加
デジタル技術活用Aizu官民共創型課題解決事業(会津)	ICTを活用した鳥獣対策の推進により、地域の負担軽減に貢献。併せて、会津地方DXプロジェクトによるデジタル技術を活用した課題解決を推進	野生動物検出システム実証研究…2か所(喜多方市、会津美里町) 官民共創型課題解決モデル実証事業…2件(昭和村、西会津町)
鳥獣対策から始める持続可能な小さな拠点づくり事業(会津)	ICTを活用した鳥獣対策を含めた小さな拠点づくり(集落形成)を進め、地域の新たな価値を創出	西会津町奥川地区において小さな拠点づくりを推進
ウィズ新型コロナウイルスに対応した交流人口拡大事業(南会津)	オンライン観光ツアーやスマートフォンを活用した「自転車でぐるっと南会津2021」スタンプラリーを実施することで新たな観光スタイルを構築	スタンプラリー参加者…72名 オンライン観光ツアー参加者…69名(2/24時点)



ICTアドバイザーの市町村派遣



建設工事へのデジタル技術の活用(3次元設計データの活用等)



ICTを活用した鳥獣対策(野生生物検出システム実証研究)

**1** QRコードからスタンプラリー「RALLY」にアクセス

**2** RALLYに記載のチェックポイントを巡ろう

(RALLY) 自転車周遊イベントアプリ